

事業番号	06 03 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道対策事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課		
		実施期間	S55 ～	E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献						

1 現状と課題

- 水道施設整備の補助事業については、国の予算状況により、国庫補助要望額以下になる事業年度があり、事業計画の見直し等計画的な整備に支障が生じている。
- 小規模な水道事業者の活用を促進するために、国庫補助の採択基準の緩和が必要である。活用しやすい国庫補助制度の拡充に向けた要望活動を行いつつ、水道事業者の活用を促進していく。
- 具体的に広域連携を進めるために、客観的なデータに基づき効果を算出した上で検討していく必要がある。令和2年度に実施した個々の水道事業者の現状分析・将来推計に基づき、令和3年度で広域連携のシミュレーションを行い、効果を算出し、水道事業者と広域連携の方向性等を協議する。

2 事業目的

老朽化した水道施設の更新や防災・減災に向けた水道施設の耐震化を推進するとともに、水道事業者間の広域連携等により経営の効率化を図り、持続可能な水道事業の運営を実現する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①水道施設の整備に係る国庫補助の活用を促進

- 運営基盤の強化に向け、水道施設の耐震化等水道整備事業に対し助成や助言・指導を実施

②水道事業の経営基盤強化に向けて「水道広域化推進プラン」を策定

- 令和3年度に実施した広域連携のシミュレーション結果を踏まえ、有識者により構成される検討委員会や水道事業者との検討の場を活用し、今後の広域連携の方向性やスケジュール等を「水道広域化推進プラン」として策定



水道管の交換

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	水道事業における管路耐震化事業の達成率（R3～R7）	%	—	12.1	—	28.7	↗	38.5	未達成	都道府県では県内水道事業者が生活基盤施設耐震化等交付金を活用して実施する水道管路の耐震化等事業（原則5年間）を取りまとめて「5か年計画」として策定しており、本計画の進捗状況は県内水道事業者の計画的な水道管路の耐震化状況を示すため。	
②	（参考指標） 水道事業における管路耐震化事業の達成率（H28～R2）	%	98.0	—	—	—	—	—	—	—	
③	（参考指標） 上水道・用水供給における基幹管路の耐震化適合率	%	36.1 令和元年度	38.4 令和2年度	—	39.0 令和3年度	—	—	—	—	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	81,960	1,533,922	△ 289,222	1,326,660	1,803	1,065,164	3.0
R3年度	23,643	1,212,864	△ 159,739	1,076,768	17,625	992,895	3.0
R2年度	137,839	925,525	△ 406,544	656,820	12,538	629,747	3.0

事業番号	06 03 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道対策事業費		部局	環境部	課・室	水大気環境課

6 主な取組実績と成果

①水道施設の整備に係る国庫補助の活用を促進

水道施設の耐震化等水道整備事業に対し助成や助言・指導を実施し、運営基盤の強化を図った。

②水道事業の経営基盤強化に向けて「水道広域化推進プラン」を策定

令和3年度に実施した広域連携のシミュレーション結果を踏まえ、有識者により構成される検討委員会や水道事業者との検討の場を活用し、今後の広域連携の方向性やスケジュール等を「水道広域化推進プラン」として策定した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	水道事業における管路耐震化事業の達成率（R3～R7）	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>県としては補助金の活用促進等を含め事業者である市町村に助言等を行ってきたが、水道事業者において資材単価及び労務費の高騰により計画していた延長の整備ができず、また工事発注及び着手に際して不測の期間を要し、年度内に整備完了できなかったため。</p>							
指標②	（参考指標）水道事業における管路耐震化事業の達成率（H28～R2）	R3年度推移	—	R4年度推移	—	達成状況	—
—							
指標③	（参考指標）上水道・用水供給における基幹管路の耐震化適合率	R3年度推移	—	R4年度推移	—	達成状況	—
—							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

県としては補助金の活用促進等を含め事業者である市町村に助言等を行ってきたが、水道事業者において昨今の資材単価及び労務費の高騰を見込んだ予算の確保までできておらず、計画していた延長の整備ができていない。また、工事発注及び着手に際して不測の期間を要し、年度内に整備完了ができていない。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

予算の確保にあたっては昨今の資材単価及び労務費の高騰を見込み、充分な額の確保に努める必要がある旨、事業者に助言を行う。前年度より各関係機関との調整等を確実に進め、円滑な事業執行に努めるよう事業者に助言を行う。

事業名	水道対策事業費	部局	環境部	課・室	水大気環境課
-----	----------------	----	-----	-----	--------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	水道施設整備促進事業費	629,747 千円	992,895 千円	1,065,164 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	水道施設整備促進事業	直接	水道事業者に対する施設の整備、災害対応等の支援 小川村において令和4年8月6日に発生した水道施設災害の復旧事業に対し支援を実施	
2	水道広域化推進プラン策定事業	直接	有識者により構成される検討委員会を設置・開催（3回）し、水道事業者と協議しながら「水道広域化推進プラン」を策定 令和5年3月に「水道広域化推進プラン」を包含した「長野県水道ビジョン」の改定を実施	
3	生活基盤施設耐震化等補助金事業	補助金	市町村等が行う施設の耐震化、広域化等の運営基盤の強化に資する水道施設整備事業に対する助成 助成先：長野市ほか28市町村、補助総額1,063,147千円（251,290千円を令和5年度へ繰越）	